

平成27年度県立高等学校入学者選抜学力検査 社 会

■ねらい、出題の内容、今後の学習指導のために

1 地理的分野の問題

【ねらい】アジア州とオセアニア州を素材に、地域の地理的特色に関する基礎的・基本的な知識の定着をみるとともに、地図、統計の読み取りを通じた思考力・判断力・表現力をみることをねらいとする。

【出題の内容】(1)(2) 両州の位置と地形的特徴を問う問題。(3) 熱帯に属する二都市の気候の特徴を、資料をもとに、思考・判断し、表現する力をみる問題。(4) 資料をもとに、米の生産と輸出の上位国を思考し、判断する力をみる問題。(5) 両州の文化と産業の特色についての知識・理解を問う問題。(6) 資料をもとに、アジア諸国との結び付きを強めるオーストラリアの姿について思考・判断し、表現する力をみる問題。

2 地理的分野の問題

【ねらい】九州地方を素材に、自然環境と環境問題をテーマとして、この地域に関する基礎的・基本的な知識の定着をみるとともに、資料の読み取りを通じた思考力・判断力・表現力をみることをねらいとする。

【出題の内容】(1) 基礎的知識を問う問題。(2) 三県の農業の特色と背景について、資料をもとに思考・判断し、表現する力をみる問題。(3) 自然災害への工夫について、資料をもとに思考・判断する力をみる問題。(4) 九州地方と大陸との歴史的なつながりについての知識・理解を問う問題。(5) 歴史的事象を題材に、資源の確保の面から製鉄についての理解を問う問題。(6) 資料をもとに、各県の産業の特色について思考・判断する力をみる問題。

3 歴史的分野の問題

【ねらい】福島県にゆかりのある人物を素材に、近代から現代までの歴史を多面的に理解し、歴史的な思考力を身に付けているかをみることをねらいとする。

【出題の内容】(1) 戊辰戦争についての位置関係を問う問題。(2) 日露戦争の講和条約の内容についての理解を問う問題。(3) 大正時代についての知識・理解を問う問題。(4) 資料をもとに、有権者の大幅な増加とその背景について思考・判断し、表現する力をみる問題。(5) 太平洋戦争前後の歴史の展開について、基礎的な知識・理解をもとに、課題に対して思考・判断し、表現する力をみる問題。

4 歴史的分野の問題

【ねらい】時代を分かちつ政治的な出来事についての略年表を素材として、古代から近世までの歴史を多面的に理解し、歴史的な思考力を身に付けているかをみることをねらいとする。

【出題の内容】(1) 大化の改新についての理解を、国外情勢をふまえて問う問題。(2) 平安初期の国内の軍事面に関する知識・理解を問う問題。(3) 土一揆に関する碑文の読み取りを通して、室町期の社会の特色について思考・判断する力をみる問題。(4) 近世前期の文化についての理解を問う問題。(5) 政治改革をテーマに近世なかば以降の社会の変容について、思考・判断する力をみる問題。(6) 条約締結後の貿易相手国の変化について、国際情勢をふまえ、思考・判断し、表現する力をみる問題。

5 公民的分野の問題

【ねらい】「私たちの暮らしと経済」をテーマとして、国民生活と経済活動との関わりについての基礎的な知識・理解と、現代社会について多面的・多角的に考察する力を身に付けているかをみることをねらいとする。

【出題の内容】(1)(2) 資料をもとに、価格と需要量・供給量の関係について思考・判断し、表現する力をみる問題。(3)(4) 模式図を通して、金融に関する知識・理解を問う問題。(5) 景気変動と政府の政策との関わりについて思考し判断する力をみる問題。(6) 近年の日本の労働や雇用の状況についての知識や理解を問う問題。

6 公民的分野の問題

【ねらい】「戦後の日本の民主政治とその時代背景」をテーマとして、民主主義や民主政治についての基礎的な知識・理解をもとに、社会的な課題について思考・判断し、表現する力を身に付けているかをみることをねらいとする。

【出題の内容】(1) 民主主義についての理解を問う問題。(2) 労働基準法の規定をもとに、資料の内容について判断する力を問う問題。(3)(4) 高度成長期の政治体制と社会問題についての知識・理解を問う問題。(5) 近年の地方公共団体の変化についての知識や・理解を問う問題。(6) 裁判員制度の導入の目的について、主権者である国民の立場から思考・判断し、表現する力をみる問題。

■今後の学習指導のために

各大問ともに、設定された課題やテーマを柱として、基礎的な知識・理解を問うとともに、様々な資料を活用しながら思考・判断したことを表現していく問題としています。それは、知識・理解を有機的に結びつけ、社会的な課題に対処し、解決していく力をはぐくむことが学習指導の中で必要とされていることによります。そのためにも、単元を通したねらいと明確な評価規準を設定し、生徒の主体的な活動を重視した学習指導を行う中で、基礎的な知識・理解の着実な定着を図るとともに、資料の適切な活用を通し、思考・判断し、表現する活動の場を一層充実させることが大切であると考えます。

■まとめ

昨今の社会科の学習では、身に付けた知識・理解を、社会的事象に対する課題の解決に向けて活用したり、応用したりする力をはぐくむことが求められています。そのことを受け今年度は、知識・理解を単純に問う小問の数を減らし、思考・判断することを要する選択問題や並び替え問題、そして、思考・判断したことを表現する力を問う論述問題の数を増やしています。また、大問6のように公民的分野と歴史的分野とを融合させる問題を組み込み、異なった分野で培った力を総合的に関連させる問いを設定しました。

■正解と正答率表

() 内は部分正答率

問題 大	問題 小	正 解		正答率 %	
1	(1)	エ		72.1	
	(2)	エ		27.9	
	(3)	W	熱帯		79.6
		X	降水量が多い時期と降水量が少ない時期に分かれる		45.8
	(4)	ウ		52.6	
	(5)	ア		80.0	
(6)	かつてD国を植民地としていたイギリスの割合が減り、中国などアジアの国の割合が増えた。		49.6 (15.2)		
2	(1)	筑紫平野		42.3	
	(2)	①	ウ	58.1	
		②	D県には水分を保ちにくいシラス台地が広がり、Pの生産には向いていないため。		44.5 (23.7)
	(3)	イ		95.3	
	(4)	イ		60.7	
	(5)	エ		46.6	
	(6)	イ		58.7	
3	(1)	エ		42.1	
	(2)	賠償金		36.4	
	(3)	ア		40.1	
	(4)	1945年の選挙法の改正によって満20歳以上のすべての男女に選挙権が認められたため。		65.4 (10.5)	
		①	ア→エ→ウ→イ		29.8
	(5)	②	サンフランシスコ平和条約		56.3
③		日ソ共同宣言に調印し、ソ連と国交を回復した		37.5 (6.5)	

問題 大	問題 小	正 解		正答率 %	
4	(1)	エ		60.5	
	(2)	ア		49.4	
	(3)	①	D		36.8
		②	借金がなくなった		16.0
	(4)	ウ		51.8	
	(5)	イ→ウ→エ→ア		24.7	
(6)	アメリカは南北戦争の影響で、日本との貿易が困難になったから。		29.1 (5.3)		
5	(1)	エ		66.6	
	(2)	なすの入荷量が少ないときは平均価格が高くなる（多いときは平均価格が低くなる）。		76.1 (5.7)	
	(3)	間接金融		11.1	
	(4)	日本銀行		69.6	
	(5)	ウ		72.3	
	(6)	イ		58.3	
6	(1)	①	国民主権	78.3	
		②	個人	34.6	
	(2)	符号	ア		80.8
		理由	男女で異なった賃金となっているため。		72.7
	(3)	自由民主党（自民党）を与党とし、日本社会党（社会党）を野党第一党とする政治体制のこと。		2.4 (5.5)	
	(4)	ア		43.5	
(5)	イ		71.3		
(6)	国民の感覚が反映される		40.3 (0.2)		